

令和2年

季刊

新春号

亞東



台湾留日東京同學會留学生の国会見学



一般社団法人日本台湾親善協会

Japan-Taiwan Friendship Association

一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名称 一般社団法人日本台湾親善協会

(英文名) Japan-Taiwan Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七-四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条と

する日本と台湾との相互理解と交流を促進して

日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年、東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一月六日、「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため二〇一八年九月に名称を「日本台湾親善協会」に変更しました。会員一同、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」令和二年 新春号・目次

一般社団法人日本台湾親善協会・概要・変遷	二頁
目次・協会役員名簿	三頁
会長新年のあいさつ	四頁
二〇二〇年 謝代表 新年祝辞	五頁
留学生国会見学会を開催	七頁
理事・監事研修会及び懇親の集いを開催	八頁
台湾総統選 蔡英文氏が圧勝	九頁
謹賀新年名刺広告	十一頁
事務局だより	十五頁

令和2年1月1日 現在

役員名簿

名誉会長	玉澤徳一郎								
会長	衛藤征士郎								
副会長	山本順三	張 建国		張 碧華					
	並木正芳	柴田徳文							
専務理事	赤松 則宏								
業務執行理事	藤山 雅康	笹岡 恭亮							
	岩田 善信								
理事 20名	衛藤征士郎	張 山	建国 康	張 小松	碧華 二郎	並木 益山	正芳 茂	赤松 伊野	則宏 晴里
	崎谷 秀彦	藤 笹岡	雅 恭亮	森 明石	康 郎	岩 城	光 英	榎 本	
	金子万寿夫	富田	家 彰		散 人	岩 田	善 信		
監事	2名		李 八口ルド			鈴木 慶一			
事務局			崎谷 秀彦						
			李 孔晔						

一般社団法人 日本台湾親善協会

会長新年のあいさつ



二〇二〇年、令和二年の新春、新年を心からお祝い申し上げます、会員の皆様とご家族の方々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

本年が災害の無い穏やかな年となりますように念じ上げます。日本台湾親善協会は、会員相互の連帯の下、着実に進展しており、誠に喜ばしく存じます。平素の会員各位のご指導とご協力に衷心より感謝申し上げます。

本会はアジアの平和と繁栄を希求し、民主主義と自由経済の確立を第一義として尽力して参りました。日本と台湾はアジア地域に於ける自由と民主主義と人権の下、開かれた議会政治と

法治政治のシンボルであり、又、キーストーンでもあります。

激動する国際情勢と不確実かつ不安定な潮流の中、日本と台湾が担う責任と役割は極めて重大であります。日台交流の推進と深化に最善を尽くすことを誓い、日台両国、日台両国民の相互互恵の為に全力を尽くす決意を新たにしております。

台湾は常に国際社会に参与し、その責任を果たし、常に地域の平和と安定に多大な貢献をされ、衷心より敬意を表し、深甚の感謝の意を表します。

結びに、皆様のご多幸を心からご祈念申し上げます。

二〇二〇年 令和二年 新春

日本台湾親善協会 会長

衆議院議員 衛藤 征士郎



二〇二〇年 謝代表 新年祝辞

台北駐日経済文化代表処
駐日代表 謝 長廷



新年明けましておめでとうございます。日本台湾親善協会の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は台湾の駐日代表として着任以来、台湾と日本の友好関係の更なる発展のために「三つの柱」という理念を掲げ一歩ずつ着実に邁進してまいりました。「三つの柱」それは「地方交流」と「民間交流」、そして災害時の助け合いに代表される「善の循環」です。

まず、「地方交流」についてですが、現時点において台湾と日本の地方自治体間で一三二件の友好交流協定が締結されており、手前味噌ではございますが、そのうち六九件が私の着任後に締結されたものでございます。そして今年の夏にはいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。嬉しいこととに日本各地でホストタウンとして台湾選手の事前合宿を受け入れていただきました。私たちはこの機会にホストタウンの皆様方に台湾をもっと身近に感じていただけるよう各自自治体と連携しスポーツ交流のイベントそして文化交流の開催も企画しております。このような取り組みを通して日本各地と台湾の絆が深まることを期待しております。

さて台湾といえば、少し前なら小籠包、最近ではタピオカミルクティーと言われますが、昨年九月に上野公園で開催されたイベント「台湾プラス」では、台湾の多様な音楽や生活文化、そして最新のイノベーション製品などを紹介し、食文化以外の切り口からも台湾をお伝えし好評を博しました。また昨年九月二七日には台湾の誠品書店が大型複合セレクトショップ「誠品生活」日本一号店を東京日本橋にオープンさせ、台湾の新たな一面をお見せしております。ちなみに、この誠品生活はアメリカCNNに「世界で最もクールな百貨店」に選出された程のハイセンスと高品質そしてユニークさを備えており、日本の皆様にも年代を超えて楽しんでいただける商業施設です。また今年日本国内の地方テレビ局と協力し、台湾各地の魅力を紹介します

る番組を放送することに力を入れています。ご存知のように昨年の台日相互訪問者数は七〇〇万人に上り過去最高となりました。台湾が文化的にも多様で奥深い魅力があることを、現地であるいは日本で体感していただければ一層の「民間交流」に繋がることでしょう。



令和元年 日本台湾親善協会総会で挨拶する謝代表

三つ目の柱は災害時に助け合う「善の循環」です。台湾と日本は共に年間を通じて自然災害の影響を受けやすい環境にあります。これまでも大きな災害が起きると他国に先んじて互いの救援活動に尽力し、痛みを理解し共感できるからこそ迅速に適切な支援を提供し合ってきました。これが私の申し上げる「善の循環」です。私利私慾の無い善の循環だからこそ恒久的に続くものなのです。

今お話しました「三つの柱」により、両国国民の心の距離は本当に近くなりました。この関係性が永続的に次の世代に受け継がれていくことを願って止みません。

世界が目まぐるしく変化する中、台湾は常に中国からの圧力を受けながらも自由と民主主義の社会を維持しています。台湾は中国と向き合う最前線であり、台湾の危機はすなわち隣国日本の危機でもあります。アジア太平洋地域の平和と安定の維持のため、台湾は自由・民主・人権を尊重するという価値観を共有する日本と緊密に協力し、日本の良きパートナーとして末永く協力関係を深められることを切に願っています。

二〇二〇年は、衛藤会長をはじめ、貴協会の皆様と共に、台日関係を更に発展させるべく推進して行きたいと考えております。引き続きお力添えのほど宜しくお願い致します。本年も皆様にとり、幸多き一年となりますよう心からお祈り致します。

留学生国会見学会を開催

一月二十八日、留学生の国会見学会を行いました。日本の大学や日本語学校に留学中の学生一九名が参加しました。

衆議院議員会館に集合した留学生は、衛藤会長や台北駐日経済文化代表處の向明

徳・黄冠超両部長、

日本台湾交流協会の

佐々木副部長らを囲

んで質疑応答ののち、

衛藤会長の政策秘書

神田氏の案内で国会

内の御休所（天皇陛

下の控室）、議長室、

自民党控室、衆議院

本会議場などを見学

しました。それぞれ

の施設では神田秘書

から詳細な説明があ

り、学生たちは熱心

な質問をしていまし

た。



衛藤会長を囲んでの質疑応答



衆議院議長室にて



国会議事堂中庭にて

理事・監事研修会及び懇親の集いを開催



蔡副代表の挨拶

当協会は二月五日夜、理事監事研修会及び懇親の集いを開催した。研修会では、講師に迎えた台北駐日経済文化代表処の蔡明耀・副代表が、来年一月一日に実施される總統選挙および立法委員（国會議員）選挙について、總統選挙の各立候補者の紹介、立法院の議員構成や選挙方法、新しい政党も含めた各政党の現在の状況などの説明を行った。蔡副代表は、複雑且つ変化しつつある東アジア情勢から見ると「今回の選挙結果はきわめて重要である」と強調された。

さらに、外交面において台湾がその存在、国際的地位を強化していく中で、台湾の国際機関への参加に対する日本の協力および支持に感謝の意を表された。近年ますます緊密になっていく台日関係についても、当協会など日本側関係者らの協力の下、より一層強化していきたいとの考えを示された。

研修会に続いて行われた懇親の集いで、会長の衛藤征士郎衆



衛藤会長の挨拶

議院議員は、当協会が現在最も関心を寄せているのが台湾のTPP加盟であり、「積極的に応援したい」との考えを示した。来年の總統選挙については、「この選挙を通して台湾の国際的地位がより高まるものと確信している。我々も中華民国台湾と連携し、当協会の役割と使命を果たしていきたい」と述べた。

さらに、「これからのアジア全体の人権、自由、経済などを考えると、台湾のいわゆる国際的地位が高まれば高まるほど、アジアにおけるキーストーンとしての台湾の地位が高まってくる」との見方を示した。

同夜は理監事のほか、顧問である自民党の衆参両院の国会議員も多数出席し、この一年を締めくくる和やかな会となった。



台湾総統選、蔡英文氏が圧勝

― 立法院選も与党が過半数を確保 ―

一月十一日に行われた台湾総統選挙は現職の民主進歩党の蔡英文総統が過去最多の約八二〇万票（得票率五七％）を獲得して対抗馬の最大野党である国民党の韓国瑜氏（約五五〇万票・得票率三九％）に圧勝しました。

台湾民衆の選択に敬意を表し、蔡総統の再選に心より祝意を申し上げ、蔡総統並びに頼清徳副総統の今後のご活躍と台湾のご繁栄を衷心よりお祈り申し上げます。

また同時に行われた立法院（一院制国会・定数一一三議席）選挙でも、与党の民進党は、六一議席と現有六八議席から減ら

したものの、過半数を確保しました。

国民党は三八議席（現有三五議席）、柯文哲台北市長が昨年八月立ち上げた台湾民衆党が比例区で五議席、若者中心でつくる時代力量も三議席を獲得しました。

蔡氏は選挙戦で、「台湾の主権と民主主義を守ろう」

と繰り返し訴えました。新年の談話でも、中国政府が台湾統一の方式として掲げる「一国二制度」は、香港情勢の悪化で、「信用はすでに破産している」と指摘、「民主主義と専制は同時に同じ国家に存在できない」と述べ、一国二制度による統一を拒否し「台湾の民主主義と自由を守ることが総統として堅持すべき立場」と中国の圧力に屈しない姿勢を強調されました。

台湾の行方を決める総統選は、反政府デモで混乱を続ける一国二制度の下での香港の情勢を踏まえて、対中関係をめぐり有権者がどう判断を下すのが最大の争点となりましたが、有権者は民主的選挙において圧倒的に蔡総統を支持しました。

感心するのは、台湾の方々の選挙への熱意であります。

台湾では日本とは異なり在外選挙制度や事前投票制度がなく、有権者は本籍地で投票すると決められています。こうした制度下で、投票に合わせて帰省する人や日本などからも帰国する人も多く見られ、総統選の前日の台湾新幹線の利用者は下り路線では開業以来最多となり、多くの投票所で投票開始直後から行列ができたと言われています。

総統選の投票率は直近三回では最高の七四・九〇％を記録、立法委員選でも小選挙区で七五・一三％、比例区で七四・八六％という高い投票率でした。

蔡総統は勝利演説で中国政府や中国共産党に呼びかけ、「平和とは、武力行使を辞さないとする台湾への脅しを中国が放棄しなければならぬことを意味する。中国当局が、民主主義的



な台湾も、我々の民主主義に基づいて選出された政府も、脅迫や威嚇行為を認めないということを理解してくれると願っている」と述べ、台湾を力づくで奪還するといった脅しを放棄するよう求めました。

内政干渉の意図はありませんが、直接選挙制が重ねられ民主主義が深化した台湾の現下の状況を踏まえて、中国政府が平和と共存共栄の道へと台湾政策の舵を切るべきと考えます。



勝利演説する蔡総統



台南市での選挙集会にて

令和二年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>台北駐大阪經濟文化辦事處</p> <p>處 長 李 世丙</p> <p>大阪市北区中之島二丁目三十一番八 中之島フェスティバルタワー一九F 電話〇六(六二二七)八六二二三</p>	<p>一般社団法人 日本台灣親善協会会長 衆議院議員</p> <p>衛 藤 征士郎</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 衆議院第一議員会館二〇一号室 新21世紀政治經濟研究 研究所 電話〇三(三五〇八)七六一八</p>	<p>公益財団法人 日本台灣交流協會</p> <p>理事長 谷崎 泰明</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處</p> <p>代 表 謝 長廷</p>
<p>台北駐日經濟文化代表處 札幌分處</p> <p>處 長 周 学佑</p> <p>札幌市中央区北四条四丁目一番地 伊 藤 比 呂 五 階 電話〇一一(二二二)二九三〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 那覇分處</p> <p>處 長 范 振國</p> <p>那覇市久茂地三丁目一五一九 アルテビル那覇六階 電話〇九八(八六二二)七〇〇八</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處</p> <p>處 長 陳 忠正</p> <p>福岡市中央区桜坂三丁目二二四二 電話〇九二(七三四)二八一〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 横浜分處</p> <p>處 長 張 淑玲</p> <p>横浜市中区日本大通り六〇 朝日生命横浜ビル二階 電話〇四五(六四一)七七三七</p>
<p>衆議院議員</p> <p>金 子 万寿夫</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館二一三号室 電話〇三(三五八)五一一一 内線七〇二二三 FAX〇三(三五〇八)三八一一</p>	<p>自由民主党副幹事長・選挙対策委員長代理 衆議院議員</p> <p>井 上 信 治</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館三一七号室 電話〇三(三五〇八)七三二八</p>	<p>衆議院議員</p> <p>穴 見 陽 一</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館五二〇号室 電話〇三(三五〇八)七一六六 FAX〇三(三五〇八)三七一六</p>	<p>自由民主党国会対策委員長 衆議院議院運営委員会理事 衆議院議員</p> <p>秋 元 司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館五二四号室 電話〇三(三五八)五一一一 内線五〇五二四 FAX〇三(三五〇八)三三三七</p>

令和二年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>衆議院議員</p> <p>谷川 弥一</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館二〇一号室 電話〇三(三五〇八)七〇一四 FAX〇三(三五〇六)〇五五七</p>	<p>自由民主党 総務会長 衆議院議員</p> <p>鈴木 俊一</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館一〇一号室</p>	<p>衆議院議員</p> <p>白須賀 貴樹</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館一二二号室 電話〇三(三五〇八)七四三六 FAX〇三(三五〇八)三九一六</p>	<p>衆議院議員</p> <p>金子 恭之</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館四一〇号室 電話〇三(三五〇八)七四一〇</p>
<p>衆議院議員</p> <p>古屋 圭司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館四二三号室 電話〇三(三五〇八)七四四〇 FAX〇三(三五九二)九〇四〇</p>	<p>衆議院議員</p> <p>根本 幸典</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館九〇六号室 電話〇三(三五〇八)七七七一</p>	<p>衆議院国土交通委員長 衆議院議員</p> <p>土井 亨</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館一二〇号室 電話〇三(三五〇八)七四七〇 FAX〇三(三五〇八)三三三〇</p>	<p>参議院議員</p> <p>鶴保 庸介</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 参議院議員会館三二三号室 電話〇三(六五五〇)〇三二三</p>
<p>参議院議員</p> <p>山本 順三</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 参議院議員会館一〇一九号室 電話〇三(六五五〇)一〇一九</p>	<p>衆議院議員</p> <p>三原 朝彦</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館九一二号室 電話〇三(三五〇八)七二九八 FAX〇三(三五〇八)三五〇八</p>	<p>衆議院議員</p> <p>三ツ林 裕巳</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二 衆議院第二議員会館五二二号室 電話〇三(三五〇八)七四一六 FAX〇三(三五〇八)三八九六</p>	<p>衆議院議員</p> <p>前原 誠司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目一 衆議院第一議員会館八〇九号室 電話〇三(三五〇八)七一七一 FAX〇三(三五九二)六六九六</p>

令和二年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>衆議院議員 吉川 貴盛</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十二 衆議院第二議員会館二〇二号室 電話〇三(三五〇八)七四五一 FAX〇三(三五〇八)七四五一</p>	<p>衆議院議員 和田 義明</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一 衆議院第一議員会館四一〇号室 電話〇三(三五〇八)七一七 FAX〇三(三五〇八)七一七</p>	<p>衆議院議員 魚住 裕一郎</p> <p>東京都港区虎ノ門一丁目一七階 東京不二法律事務所 電話〇三(三五〇二)六四二一 FAX〇三(三五〇二)六四二一</p>	<p>衆議院議員 林 月理</p> <p>日本中華聯合總會 (榎本 有里)</p> <p>東京都港区六本木七丁目一〇四階 電話〇三(五八四三)〇五八五 FAX〇三(三四〇八)〇三八二 https://www.jpbc.or.jp/</p>
<p>中華民國留日橫濱華僑總會 會 役 張 儀 理 監 事 一 同</p> <p>神奈川県横浜市中区山下町一四二番地 電話〇四五(六八)二二一四 FAX〇四五(二〇)二八五五</p>	<p>一般財団法人 台湾協会 理 事 長 森田 高光</p> <p>東京都新宿区新宿六丁目九一六 エールツ6ビル四F 電話〇三(三二〇〇)八一八〇 FAX〇三(三二〇〇)八一八〇</p>	<p>学校法人電子学園 日本電子専門学校 情報経営イノベーション専門職大学 理 事 長 多 忠貴</p>	<p>株式会社 ホテル横須賀 代表取締役 長尾 和典</p> <p>横須賀市米が浜通り二一七 電話〇四六(八二五)一一一一 FAX〇四六(八二〇)一一一三</p>
<p>学校法人東京国際学園 東京外国語専門学校 東京国際福祉専門学校 東京外国語日本語学校 理 事 長 武田 哲一</p> <p>東京都新宿区西新宿七三三十八 電話〇三(三三六七)一一〇三</p>	<p>後藤泌尿器科皮膚科医院 院 長 後藤 康文</p> <p>岩手県宮古市大通一三三二四 電話〇一九三(六二)三六三〇</p>	<p>株式会社 大海 代表取締役 並木 久</p> <p>神奈川県横浜市中央区田名七五三一八 電話〇九〇(二五四〇)四四六一</p>	<p>木下工業株式会社 代表取締役 木下 和昌</p> <p>大阪府大阪市中央区北新町三番四号 電話〇六(六九四六)〇〇七八 FAX〇六(六九四六)〇五〇三</p>

令和二年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>株式会社 五常光産</p> <p>代表取締役 屋島 範光</p> <p>東京都新宿区西新宿七―一三―五 電話〇三(五三三〇)八〇八八 FAX〇三(五三三〇)〇四五五</p>	<p>株式会社 永島製作所</p> <p>代表取締役 永島 剛士</p> <p>石川県羽咋市寺家町夕一番九 電話〇七六七(二二)七〇一一 FAX〇七六七(二二)七〇一一</p>	<p>株式会社 ホームインテグレーションひろせ</p> <p>フアウンダー 廣瀬 舜一</p> <p>大分市大字古国府二四三番地九 電話〇九七(五四五)八六六六</p>	<p>佐伯印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 平岩 照正</p> <p>大分市大字古国府一二五五番地一 電話〇九七(五四三)一一一一 FAX〇九七(五四四)四〇二八</p>
<p>株式会社 若生技建</p> <p>取締役会長 若生 隆</p> <p>宮城県名取市下増出字鶴巻前四四番地 電話〇二二(三八四)一七五八 FAX〇二二(三八四)一七六〇</p>	<p>友盛貿易株式会社</p> <p>代表取締役 鄭 尊仁</p> <p>横浜市中区太田町二―三―一 電話〇四五(二二六)二二九八 FAX〇四五(六六三)二二八九</p>	<p>上北農産加工株式会社</p> <p>代表取締役社長 成田 正義</p> <p>青森県十和田市大字相坂字上前川原七六 電話〇一七六(二三)三三三八 FAX〇一七六(二三)八一五三</p>	<p>オリオンビール株式会社</p> <p>取締役会長 嘉手苅義男</p> <p>浦添市字城間一九八五―一 電話〇九八(八七七)一一三三 FAX〇九八(八七八)七〇四四</p>
<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>専務理事 赤松 則宏</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 柴田 徳文</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会 元 衆議院議員</p> <p>副会長 並木 正芳</p> <p>埼玉県所沢市泉町一七九三―三―一〇二 電話〇四(二九二四)八〇五〇 電話〇四(二九四四)八〇六一</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 張 碧華</p> <p>千代田区外神田三―七―七 電話〇三(三三五七)〇〇三二</p>

令和二年 謹 賀 新 年 (順不同)

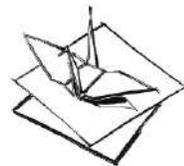
<p>明 石 散 人</p> <p>中央区築地二一五一〇一〇一〇八 電話〇三(三五四一)八八四八 携帯〇九〇(八八七二)四七七一</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>理 事 森 康 郎</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>業務執行理事 岩田 善信</p> <p>東京都港区南青山五―六一九 サウス青山マンション五〇四号 電話〇三(三四〇九)七八八八 FAX 〇三(三四〇九)九四〇五</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>業務執行理事 程 金笙</p>
--	---	--	---

事務局だより

新春互礼会

日 時：令和2年2月3日(月)

開 場：ホテルルポール麹町



【第一部】講演会 17:00~17:50

一般財団法人 日本総合研究所 会長
多摩大学 学長

講 師 寺島 実郎 先生

演 題 『21世紀東アジア情勢の中での日本』

【第二部】新春互礼会 18:00~19:30

エイチアイインターナショナル株式会社
代表取締役 李ハロルド

東京都新宿区新宿五―一七一―一八
電話〇三(二三〇三)〇一一一
FAX 〇三(二三〇三)〇一一九

季 刊 亜 東 (アジアの架け橋) 令和二年 新春号 (No.72)

発行日 : 令和2年1月15日

発行所 : 一般社団法人日本台湾親善協会

発行人 : 衛藤征士郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印 刷 : 株式会社サンユー



台湾の翼

チャイナエアラインなら、
うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



www.china-airlines.com/jp/jp